

DOYU

あおり

2021 Nov.

11

vol.247

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL/017(752)0171 FAX/017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

八戸支部例会

頭の体操をしてみよう

～結論に至る筋道と前提、事実とデータ～

◆報告者◆

税理士法人 MSA パートナース
専務執行役員

(有)淡路会計事務所

代表取締役

淡路 俊彦 氏 (八戸支部)

(2021/9/14 オンライン参加 14名)

★★★ 感想文 ★★★

これまでメディア情報に違和感を感じながら過ごしてきました。そして、淡路俊彦さんのお話により感じていた違和感が何なのかが明確になりました。情報が溢れる現代社会において、多様な情報源がありますが、その情報は本当に事実に基づいているのでしょうか。

①論理が複数混ざることにより、分かりづらくなっている。分解して考える。

②事実と主張の混在により、正しく見えてしまう。区別して読み解く習慣を身に付ける。

③数値を置いてみると、事実の印象が変わる。例えば PCR 検査の陽性率。

④情報源の偏りによる信憑性。主張の都合に合わせた情報の部分取得になっていないか。

以上、4つのポイントを押さえることにより、意思決定の精度を上げられそうです。

変化のスピードが激しくなる現代において、今回の例会の学びをよい経営者、よい職場づくりへ生かしていく機会となりました。

記/(株)岩岡 専務取締役 岩岡 慎雄 氏

津軽支部例会

創意工夫で不可能を可能に！

～社員全員の夢実現に向けて～

◆報告者◆

(株)島守ダクト (八戸支部)

代表取締役 島守 英樹 氏

(2021/9/24 オンライン参加 9名)

★★★ 感想文 ★★★

創意工夫で不可能を可能に！

表題は先代の社長の信念の言葉で、島守さんはこの信念をしっかりと引き継ぎ、社員全員の夢の実現に向けて日々奮闘されているとの事でした。

そんな社員さん思いな島守さんでしたが、経営指針受講前は社員さんを兵力とみていたそうです。そこから社員さんと目線を合わせて個人面談を行い、会社の悪いところをしっかりと受け止め、社員さんのために働きやすい環境づくりに取り組んでいらっしゃる。

島守さんは「もし経営指針を受講していなければ、目標を持たず利益のみを追求するゾットするような会社になっていた」と振返っていらっしゃいました。

今回、経営指針に基づいて社員さんと向き合いながら同じ目標に向かい、共に未来を考えて進んでいくからこそ、社員さん全員の夢が実現するという事に、改めて気づいた素晴らしい報告でした。

記/(株)スノウプル 専務取締役 鳴海 利彦 氏

青森支部ガイダンス

「旅行業界の現状と 私たちが目指す明るい未来」



◆報告者◆
(株)日専連旅行センター
営業部長代理 唐牛 直人 氏
(青森支部)
2021/10/13 参加 16名

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

苦境だからこそみえるもの、 ピンチをチャンスに！

コロナ過の中、観光・旅行業界は需要激減に直面し、倒産・廃業が増加している。そんな中、青森の地元密着企業として諦めずに生き残りをかける日専連さんのお話に、他業種として何かヒントがもらえるのではと思い、参加させていただきました。

普段当たり前だった事が尽く出来なくなり、売上激減。その苦しさは一般の私達にも容易に想像できるものです。しかし、下を向いてはいられないと会社一丸となって自社の強み弱みを分析し、デジタル化はもちろん、人と繋がり顔を見せる営業に取り組んだ。それには、絶対にまた旅行業界が盛り上がるぞ！という仕事へのプライドと熱量を感じました。

「準備のないものに次はない」この状況下だからこそできる事をコツコツと！お客様に寄り添い、対話し様々なプロジェクトを企画し、お客様に明るい未来の夢や希望をあたえる素晴らしい仕事だと改めて感じました。

どの業種も急速に大きく変化しながらも、未来を想像しつつ、今までの概念を覆す大きな変化にチャレンジし、一步一步前進することが企業成長への道に繋がっている事だと改めて考えさせられました。それを実践している日専連さん、唐牛さんのお話に勇気をいただきました。ありがとうございました。

記/(株)高村保険事務所 Ms' I-M 青森店
支店長 玉村 大子 氏

上十三支部例会 & 経営指針委員会合同例会

「だし屋」が描く枝葉広がる未来図 ～経営指針書がくれた無限の可能性～



◆報告者◆
(有)静岡屋 代表取締役
だし拉麺 きんざん 店主
金山 明弘 氏 (八戸支部)
2021/9/29 参加 27名

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

22歳の時に代表だった父親が脳挫傷を患い、長男の金山さんは10期連続赤字の静岡屋に入社します。若さとやる気でガムシャラに働きますが、追い打ちをかけるように東日本大震災で倉庫が3mの津波に襲われ、数千万円分の在庫がダメになるというさらなるどん底を経験します。

悶々としている時に自分の中にある答えと出会えたのは経営指針づくりでした。静岡屋の歴史や創業者の苦労や想い・父や母の想い等、代々築きあげられてきた事を痛感するとともに、「だし」が人々を豊かにする事に気付きました。

経営指針をつくることで「だし屋」という太い幹ができたといいます。HACCP 認証に取り組み、輸出にも力を入れる他、商品を直接消費者に届けるため、ラーメン店などの飲食業への進出の他、小売事業にも力を入れています。

最終的には八戸に『だし』のテーマパークを作りたいと話す金山さん。『だし屋』の太い幹を沢山の枝葉をよい仲間たちと伸ばし広げていく、ワクワクする報告でした。私もよい夢を頂きました。

ありがとう金山さん。

記/(有)岩木建設 専務取締役 岩木 節子 氏

10月理事会報告 於:事務局 2021.10.6(水)

- 1) 年度方針の確認
 - 青森同友会2021年度重点活動方針
 - 青森同友会3カ年ビジョン(2020~2022)
 - 2) 報告事項
 - 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
 - 第18期「経営指針を創る会」運営状況について
 - 全県委員長会議について
 - 支部長会議について
 - 3) 審議事項
 - 青森同友会の新型コロナへの対策について
 - 支部長会議からの上程事項について
 - 秋の経営研究集会について
 - 2022年新春例会について
 - 年度会勢目標に向けての取り組みについて
 - 各支部、委員会からの報告
- 入退会 会員数 393名/入会 3社 退会 0社
【次回開催日】2021年11月2日(火)13:30~/事務局会議室